



応募書類の作成について

応募者は、所定の応募様式にしたがって様式1に記入し、事務局に2部提出して下さい。様式2、添付資料、プレゼンテーション用資料は予備選考で選考委員会に上申された場合に説明する資料ですので、事務局の連絡に従って提出して下さい。書式様式は、日本鍛圧機械工業会ホームページからダウンロードできます。

①(様式1) 応募に関する基本情報

- ・成果の題目 (加工製品、成果のタイトル、各要素の役割と寄与)
- ・応募者情報 ・応募内容の概略説明

②(様式2) 応募内容の詳細説明

- ・応募製品の概要 (要素、加工プロセス、具体的な成果)

- ・製品加工メーカーのコメント
- ・応募製品の訴求点の詳細説明
- ・知的財産権、表彰歴、研究論文、メディア紹介事例

③ 添付資料

成果の詳細を補足する写真・図面類、カタログ、論文、記事等の公表情報を添付して下さい。対象加工製品の写真および鍛圧機械のカタログまたは写真は必須とします。

④ プレゼンテーション用資料

選考委員会で説明する場合の資料です。ビデオおよび加工製品現物を含みます。

応募製品の訴求について

応募者は、応募時に次の3項目を基本にして訴求し、「トータルでエコな加工製品」であることを明確にしてください。訴求内容に濃淡があってもかまいません。特に高い評価に値すると考えられる「光りもの」要素について、その成果を明確にしてください。これらは受賞候補を総合的に評価・選考する視点となります。

① 技術的独創性および新規性

どのような用途および目的で開発したか等、開発の必要性や経緯、開発した技術的な特長を図表、写真等 (ビデオおよび加工製品現物も可) を用いて説明してください。特に技術的な特長の説明では、目的と関連づけて従来の技術・構成設備との比較を交えて、オリ

ジナリティ、日本初・世界初、従来との革新度、機能・性能・品質等の技術水準に言及してください。

② 経済性、市場への貢献

実用上の経済性に関して、生産量推移、生産性、市場または業容の拡大、コストメリット等の観点から従来製品との比較を交えて具体的に説明してください。

③ 労働環境、地球環境向上への貢献

省エネ、省資源、作業環境保全 (振動・騒音・有害物質) 等の観点から、環境負荷低減状況を従来製品との比較を交えて具体的に説明してください。

注記

(1) 応募時の確認事項について

応募者は、応募時点において次の項目を確認してください。

- ① 応募提出書類の内容に間違いや虚偽・不正がないこと。
- ② 応募することあるいは受賞後の内容公表について、関係者全員の了承を得ていること。
- ③ 応募内容に関する特許権等知的財産権に関して、関係者との調整が完了していること。
- ④ その他、応募対象および内容が MF 技術大賞の趣旨に適合していること。

予備審査までに確認できない場合および応募者からの辞退申し出があった場合は、応募を取り消すことができるものとします。

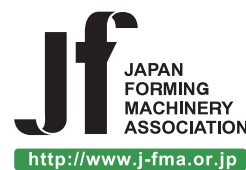
(2) 個人情報等の取扱いについて

選考委員および事務局員は、機密保持を遵守します。また、選考審査が一部の利害に偏ることなく公正かつ公平に遂行されるよう倫理的に行動するものとします。募集において入手した企業情報および個人情報は、審査および表彰の目的以外では使用しません。提出された書類 (原本) および関係物品は全て応募者に返却します。

(3) 運営上の制限事項

日鍛工会長 (贈呈者) 会社および技術委員長 (選考委員会副委員長) 会社、予備審査部会会社も応募可能ですが、委員は自社の応募案件について意見を述べることもおよび評価・選考に参加できないものとします。

お問い合わせは



一般社団法人 日本鍛圧機械工業会
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8
TEL.03-3432-4579
FAX.03-3432-4804

鍛圧機械3つのコラボ



MFエコマシン認証制度



MF技術大賞

MF技術大賞

塑性加工はロマンが、スマート&クール鍛圧機械

募集要項

募集期間
2014年
4月1日~7月31日
必着



* MF技術優秀賞を新設しました *

主催

■ 一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

特別協賛

■ 一般社団法人 日本塑性加工学会

■ 一般社団法人 日本金属プレス工業協会

■ 一般社団法人 日本鍛造協会

■ 一般社団法人 日本金型工業会



MF技術大賞

2014-2015年 募集要項

「MF技術大賞」は、Metal Forming (MF) に不可欠な鍛圧機械、製品加工、研究などの7つの要素を組み合わせた、鍛圧機械の世界最高級の大賞です。高精度・高生産性ならびに安全・環境性能を顕著に有するトータルでエコな製品製作の成果を国内外に発信し、鍛圧塑性加工技術の発展に寄与することを目指します。

鍛圧機械の良さを最終製品の良さを証明するため、鍛圧機械メーカーと加工メーカーなどの「ものづくり総合力」を発揮されたグループを表彰します。

MF技術大賞 応募概要

- 7要素を効率的に組み合わせて創出した、鍛圧機械の「ものづくり総合力」。
- 高精度・高生産性並びに安全・環境性を顕著に有するトータルでエコな製品製作の成果。



※ 2社2要素以上で応募。「鍛圧機械」と「製品加工」は必須

MF技術大賞制度 運営概要

- MF技術大賞応募期間 (2014/4/1 ~ 7/31)
 - 製品加工メーカー・鍛圧機械メーカー等が応募代表者となる会員企業と応募
- 応募内容確認期間 (2014/4/1 ~ 7/31)
 - 日鍛工が応募内容を確認
- 受賞候補を選出 (2014/10)
 - 予備審査部会で受賞候補を選出
- 受賞者の決定 (2014/11)
 - 選考委員会で受賞者の決定、理事会の承認
- 表彰式 (2015/1)
 - 賀詞交換会に併設する表彰式にて表彰盾・賞金の贈呈
- 受賞製品展示：MF-Tokyo 2015
 - 受賞製品は MF-Tokyo 2015 に展示

募集期間

2014年4月1日～7月31日

日本鍛圧機械工業会 事務局 必着。

応募方法

日本鍛圧機械工業会会員が応募代表者となり、応募案件を満たすと判断したら応募案件の構成要素をとりまとめた所定の応募書類様式に記入し、日本鍛圧機械工業会事務局に2部提出してください。

※ 応募書類様式は日本鍛圧機械工業会ホームページよりダウンロードできます。

※ 作成方法の概要を次ページに記載します。

HP <http://www.j-fma.or.jp>

表彰対象/応募製品の条件

鍛圧機械等(レーザ切断機、プラズマ切断機を含む)を使って加工した製品で、次の内容を満たすものとします。

- ① 技術面での獨創性、新規性を有し、産業界の発展および労働環境・地球環境向上への貢献の観点からトータルで顕著な成果をあげていることが第一条件となります。
- ② 「鍛圧機械」と「製品加工」を必須とし、「研究」「素材」「金型」「システム」「製品組立」等も選択出来ます。応募は2社2要素以上が必要です。
- ③ 対象となる加工製品は、市場導入後概ね10年以内のもので、1年間以上の販売実績を有することとします。現在も生産中か否かは問いません。
- ④ 海外からの技術導入、助成金や補助金を受けて研究・開発したものの、他の表彰を受けたもの等の如何は問いません。

応募料金

「MF技術大賞」への応募は無料です。

選考方法

- ① 予備審査部会において内容確認、評価・受賞候補の選考を行います。
- ② 予備審査の結果を受けて下記、委員からなる選考委員会で最終選考を行い、理事会において承認し決定します。
- ③ 工場等の現地審査は行いません。

MF技術大賞

「MF技術大賞」は最大6件を表彰いたします。賞金はそれぞれ50万円です。

MF技術優秀賞

「MF技術優秀賞」を新設しました。受賞者には表彰盾を贈呈します。

発表/表彰状の贈呈/受賞製品の展示

- ① 「MF技術大賞」「MF技術優秀賞」は会長名で各応募者に通知し、日本鍛圧機械工業会ホームページおよび会報「METALFORM」で公表します。
- ② 表彰盾および賞金の贈呈は、2015年の賀詞交歓会に併設する表彰式において実施します。
- ③ 受賞製品は、MF-Tokyo 2015において展示します。

MF-Tokyo 2015 プレス・板金・フォーミング展

会期：2015年7月15日(水)～7月18日(土)
場所：東京ビッグサイト 東1・2・3ホール

主催

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

特別協賛

- 一般社団法人 日本塑性加工学会 ● 一般社団法人 日本鍛造協会
- 一般社団法人 日本金属プレス工業協会 ● 一般社団法人 日本金型工業会

応募書類の提出先/お問い合わせ先

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 事務局
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館3階
TEL.03-3432-4579 / FAX.03-3432-4804
E-mail:info@j-fma.or.jp

前回 MF 技術大賞 2012-2013 受賞者・受賞製品

MF技術大賞 2012 受賞製品

複動5軸油圧プレスによるクラッチハブ加工

・株式会社マダダ (多軸油圧サーボプレス: MMF200-M32)
・アイシン・エイ・ダブリュ株式会社 (愛知県安城市)

複動5軸油圧プレスによるクラッチハブ加工
森鉄工株式会社
(多軸油圧サーボプレス: MMF200-M32)
アイシン・エイ・ダブリュ株式会社
(愛知県安城市)

MF技術大賞 2012 受賞製品

4軸直動式サーボプレスによる2段サイクロイドギア加工

・株式会社放電精密加工研究所 (直動式デジタルサーボフォーマー: ZENFormer)
・株式会社ヤマナカコーキン (大阪府東大阪市)

4軸直動式サーボプレスによる2段サイクロイドギア加工
株式会社放電精密加工研究所
(直動式デジタルサーボフォーマー: ZENFormer)
株式会社ヤマナカコーキン
(大阪府東大阪市)

MF技術大賞 2012 受賞製品

サーボプレスの変速制御と電解水による三次元反射鏡加工

・株式会社アマダ (デジタル電圧サーボプレス: SDE/SDEWシリーズ)
・高橋金属株式会社 (電解イオン水洗浄: TWSシリーズ) (滋賀県長浜市)

サーボプレスの変速制御と電解水による三次元反射鏡加工
株式会社アマダ
(デジタル電圧サーボプレス: SDE/SDEWシリーズ)
高橋金属株式会社
(電解イオン水洗浄: TWSシリーズ) (滋賀県長浜市)

MF技術大賞 2012 受賞製品

サーボプレスとサーボロックアウトでの流動制御によるハブ加工

・コマツ産機株式会社 (鍛造サーボプレス: H1C630S)
・上坂塑性株式会社 (埼玉県入間郡)

サーボプレスとサーボロックアウトでの流動制御によるハブ加工
コマツ産機株式会社
(鍛造サーボプレス: H1C630S)
上坂塑性株式会社
(埼玉県入間郡)

MF技術大賞 2012 受賞製品

Y開先プラズマ切断機による建設機械部品の開先加工

・コマツ産機株式会社 (プラズマ加工機: ROOT TWISTER TFRVシリーズ)
・株式会社飯塚鋼 (兵庫県姫路市)

Y開先プラズマ切断機による建設機械部品の開先加工
コマツ産機株式会社
(プラズマ加工機: ROOT TWISTER TFRVシリーズ)
株式会社飯塚鋼
(兵庫県姫路市)

MF 技術大賞 2014-2015 年選考委員会

委員長

石川 孝司
名古屋大学 大学院工学研究科 教授

副委員長

宗田 世一
一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 副会長兼技術委員長
株式会社 エイチアンドエフ 代表取締役社長

委員

高橋 進
日本大学 生産工学部 機械工学科 教授

柳本 潤

東京大学 生産技術研究所 教授
予備審査部会 部会長

渡邊 政嘉

一般社団法人 日本機械学会
イノベーションセンター センター長

松本 憲治

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 専務理事